



# コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校  
令和3年4月30日  
NO. 15



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

結果がよかったからといって自分にとっていい内容だとは限らない  
結果が悪く出てもすべてがよくないとも思わない

どんな結果に対しても僕はそれを受け入れる  
失敗したときの自分の立場が怖いからといって変な理由づけはしません  
だから僕の発している言葉に嘘はないはず

やれることはすべてやってきましたし手を抜いたことは一度もありません  
常にやれることをやろうとした自分がいた  
それに対して準備ができた自分がいたことを誇りに思います (イチロー)

## 春季大会を終えて

### 次への飛躍へ 夏に輝く太中生に！

連休前に行われた春季大会では、その結果以上に、どの部も最後まであきらめず、力の限り戦っていた姿に拍手を送り、讃えたいと思います。各部とも、春季大会で得たものは大きかったはず、たくさんのお土産をもって帰ってきたものと思っています。

3位となり夏本番のシード権を獲得した野球部の写真に、イチロー氏の言葉をかぶせました。野球に限らず、物事に取り組む心構えや姿勢、準備の大切さを教えてくれる深い言葉だと思っています。

『過去の勝利が未来の勝利を約束するわけではありませんし、過去の敗戦が未来の敗戦を決定付けるものでもありません』また、『練習で100%出せない者が、試合で100%を発揮することはできません』

この春季大会で得た自信を過信にせず、悔しさを糧にして、本番である総体までの1ヶ月半を、長所を伸ばし、課題の改善に取り組みながら、自分もチームも100%やりきったと言える、そして、自分に誇りがもてる期間にしてほしいと願っています。

イチロー氏はこんな言葉も言っています。

「苦悩というのは、前進したいって思いがあって、それを乗り越えられる可能性のある人にしか訪れない。だから、苦悩は飛躍なんです。」

各部とも、これが夏に輝く太中生になるべく本番へのスタートです。苦しむこと、悔しいこともあるでしょう。でも、苦悩は次への飛躍なのですから…。

## おめでとう ～太中生の活躍～

令和3年度 大曲仙北中学校春季大会

(R3 4/24～29)

野 球 3 位

男子ソフトテニス

男子複 3 位 小松 柊也・鈴木 蒼空ペア  
バスト8 服部 浩大・小柳 光輝ペア

## 1年生の学年ネーム



1年生の学年ネームが決まり、4月28日(木)、校内陸上記録会の開会式前に全校に披露しました。

1年生全員がネーム案を考え、その中から案を絞り、プレゼンと投票を経て決定した学年ネームで、「そうれい」と読みます。このネームには、「一人一人が助け合いながら、いろいろなことに挑戦し、高め合っていこう」という願いが込められています。「翠陽(2年生)」「翔破(3年生)」学年共々よろしくお祈りします。